

第 23 回国際海藻シンポジウム

テーマ：古き伝統から新しい産業、それは海藻
韓国の Jeju Island (済州島)で、2019 年 3 月 28 日から 4 月 3 日まで開催

第 23 回国際海藻シンポジウムは、海藻分野で 3 年に 1 回開催される長い歴史を持ち基礎分野から応用分野までの報告があり、3 年に 1 度、世界の海藻関係者が集う。

毎回 300~500 名（日本人は 10~50 名）の参加者がある世界で最も大きな集いである。研究者から海藻業界の方々まで参加する。日本では過去に札幌と神戸で開催されたが、今回の大会はアジアで 3 番目になる。

シンポジウムは、基調講演、ミニシンポジウム、一般講演、ポスターセッションなど従来のプログラムに従って開催される。報告内容は、分類学、生物多様性生物学、生態学、環境変動と海藻、分子遺伝学、海藻養殖、海藻工業（組織培養、薬品、化粧品、機能性成分、バイオエネルギーなど）など海藻に関わる広い分野にわたる。16 課題のトピック・ミニシンポジウム（課題未定）がある。最近ではポスター発表が多い。

期間中に多様なエクスカージョン（1 日旅行）、ソウルツアー、海藻養殖場、世界遺産見物などの一つ選択、無料。パーティーでは伝統芸能が披露される場合が多い。期間中、無料休憩コーナーがある。シンポジウムは韓国・国内組織委員会が設置されて運営される。

組織委員会・会長は、Jein Ha Kim 教授である。

早期参加費（2018 年 12 月 15 日までに申請）US\$ 600、通常参加費 US\$ 650（当日まで受け付け）、パーティー費 US\$70、（聴講のみ：US\$ 250、パーティー US\$ 70）講演要旨締め切り 2019 年 1 月 15 日である。

第 2 回案内はネット：ISS-2019, Korea で検索できる（英語）。

さらに詳細な情報（第 3 回案内）は、secretariat@iss2019.org にコンタクトを取る。

このシンポジウムに関してご不明な点がございましたら、『海の森づくり推進協会』事務局（大野正夫：email: moseaweed@yahoo.co.jp）に連絡をください。